

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	人づくり	政策名	9 女性の起業や再就職などの支援、女性の研究者・技術者等の育成
政策目標	女性の起業などが進むとともに、次代を担う女性の研究者や技術者が増大し、理工系分野等への女性の参画が進んでいること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1) 起業等を志す女性のチャレンジ支援	■女性の起業等への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援センター・創業移住促進住宅運営管理事業 多くの起業家や移住者を呼び込み「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点となるよう管理運営 ・【拡】とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 成長するスタートアップ企業の創出に向けた案件の発掘と集中的な支援を実施 ・創業プログラム等実施支援事業 市町村・商工団体等が実施する創業スクール等の開催経費を支援 ・スモールビジネス創業支援事業 年齢やキャリアに関わらず、誰もが起業にチャレンジできる環境を整備するため、スモールビジネス・コミュニティビジネスでの起業・新分野展開に必要な経費を助成 ・がんばる女性農業者支援事業(再掲) 女性農業者の起業活動に必要な知識・技術の習得や機材等の整備を発展段階に応じて支援 ・女性未就業者等活躍促進事業(再掲) 女性就業支援センターの運営により女性の就業を支援 	<p>77,890</p> <p>61,700</p> <p>3,000</p> <p>11,000</p> <p>9,486</p> <p>16,200</p>
(2) 女性研究者・技術者等の育成	■科学に対する関心を高め科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・とやま科学オリンピックの開催(再掲) 中・高校生を対象に、数学・理科分野を中心とした幅広い思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた富山ならではの大会の開催 ■科学技術に対する理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ・とやま科学技術週間の実施(再掲) 毎年、7月21日から8月10日を「とやま科学技術週間」と位置づけ、県、市町村、大学、科学館等で開催される科学技術関連イベントをPR ・夏休み子供科学研究室(再掲) 県試験研究機関を開放し、小中学生等を対象に研究員が実験、観察等の指導 ・きらめきエンジニア事業(再掲) 県立大学の教員や県試験研究機関の研究員、民間研究員が、小中学校や高等学校へ出向いて科学技術に関する講義や実験・実習を実施 ■県立大学の教育研究分野の充実による女性研究者・技術者の育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・県立大学学科拡充等推進事業(再掲) 学科拡充等に伴う研究設備等の整備 ・【新】県立大学新学部整備事業(再掲) データサイエンス等の専門教育を行う「情報工学部(仮称)」の開設準備 ・県立大学DX教育研究センター運営事業(再掲) 産学官金の連携教育研究拠点として、DXを担う人材育成と研究を推進 ・県立大学戦略的広報事業(再掲) 大学の認知度を高めるための情報発信の強化 ・県立大学学生募集強化事業(再掲) 学生募集参加による高校訪問等の実施 	<p>8,515</p> <p>500</p> <p>504</p> <p>317,670</p> <p>328,962</p> <p>59,750</p> <p>9,501</p> <p>32,799</p>
(3) 理工系分野の産業における女性の活躍推進	■本県産業における女性研究者・技術者の育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・若者と女性が輝く建設業支援事業(再掲) 建設業のイメージアップを図るとともに、女性が活躍できる労働環境整備の促進や将来を担う若手技術者の確保・育成につながる取組みを支援 	<p>14,820</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
県創業支援センター相談件数(再掲)	—	—	312件 (うち女性 156件)	県創業支援センターにおいて、相談に応じた件数 (延べ件数)
富山県立大学工学部の受験者数のうち、 女子学生の割合	14.9%	25%程度	25%程度	富山県立大学工学部を受験した学生のうち、女子 学生の割合